

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2022年5月1日～2023年4月30日】

岩上建設株式会社

《ご挨拶》

岩上建設株式会社は昭和51年創業以来、建設業者として土木・舗装工事を中心に事業活動を行ってまいりました。地元を根ざした企業として、地域からも信頼される企業を目指しております。

建設業は、特に自然環境にも与える影響が大きい事を受け止め、次頁の環境方針を基に環境活動を展開しております。地球環境に優しい企業として、環境への配慮も企業活動の大きな役割として捉え、新たな一歩を踏み出しました。

以下、「環境経営レポート」として取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧のうえ、ご指導、ご指摘をいただき、次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

岩上建設株式会社
代表取締役 岩上 憲布

《目次》

1. 環境方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境目標とその実績	P-4
5. 環境活動の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体の評価と見直し	P-6

1. 環境方針

〔基本理念〕

岩上建設株式会社は、社是『高きを仰ぎ最善を尽くす』の企業理念に基づき、地域に根ざした企業として、地域社会へ貢献すると共に、地球環境の保全と事業を通しての環境保護に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 二酸化炭素排出量を削減します。
 - ・ 廃棄物の削減
 - ・ 電気使用量の削減、節水
 - ・ エコドライブの推進
 - ・ グリーン購入の推進
2. 環境関連法規、条例等を遵守します。
3. この環境方針、活動は社会に公開します。

2018年11月 1日

岩上建設株式会社
代表取締役

岩上 憲布



2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名、事業規模

会社名 : 岩上建設株式会社
代表者 : 代表取締役 岩上憲布
設立年月日 : 昭和51年7月7日
資本金 : 3,000万円

2. 所在地

本社（事務所） 〒379-2117 群馬県前橋市二之宮町1686番地
資材置場 群馬県前橋市二之宮町1658番1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 岩上 憲布
環境管理責任者 : 専務取締役 池江 朗
担当 : EA21事務局 鶴岡 宣寿 ・ 高山 光義 ・ (杉田)
TEL : 027-268-1111
FAX : 027-268-1113

4. 対象範囲

岩上建設株式会社 全組織及び全活動

5. 事業の内容

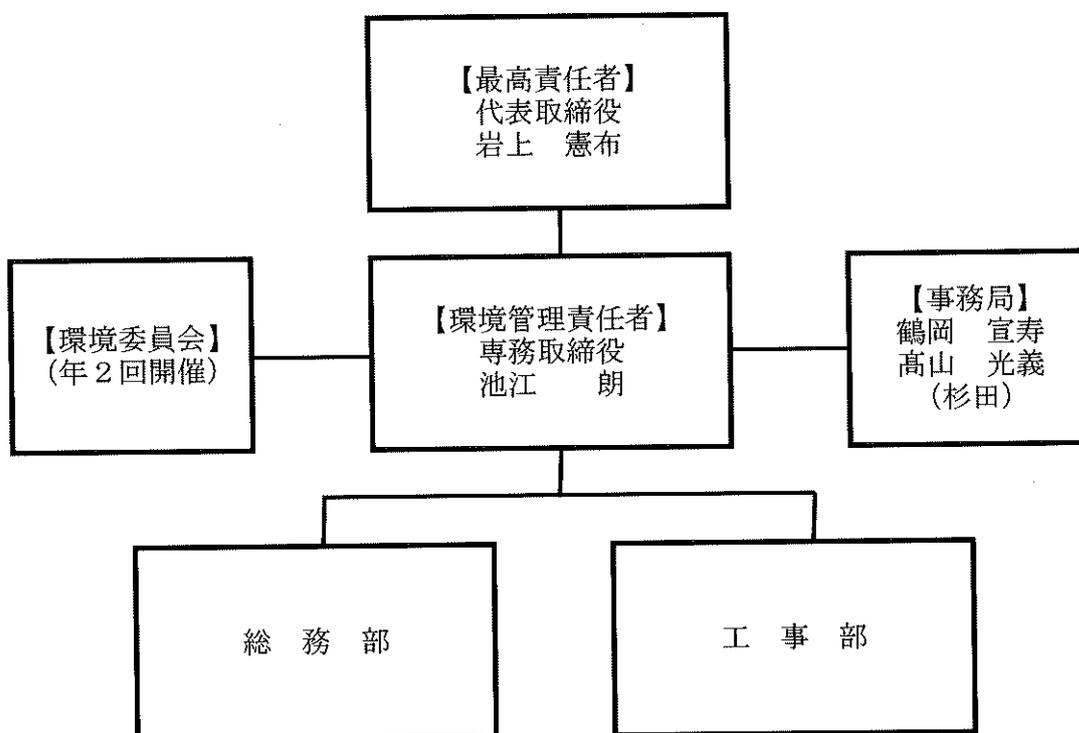
建設業（土木一般）

許可番号	許可の有効期間、許可業種
群馬県知事許可（特-3）第9016号	令和3年9月24日～令和8年9月23日
	土木、とび・土工、石、鋼、舗装、しゅんせつ、塗装、造園、水道施設、解体
群馬県知事許可（般-3）第9016号	令和3年9月24日～令和8年9月23日
	管

6. 事業規模

活動規模	単位	2021年 (第46期) 基準年	2020年 (第45期)	2021年 (第46期)	2022年 (第47期)
工事等の件数	件	74	55	74	85
売上高	百万円	750	539	750	794
従業員	人	27	29	27	28

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 岩上 憲布】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【専務取締役 池江 朗】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【鶴岡宣寿・高山光義・（杉田）】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年2回環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境目標とその実績

1. 環境目標とその実績

*購入電力の排出係数は、0.457kg-CO₂/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

環境目標	基準値		今年度目標				中長期目標		
	2021年	2022年						2023年	2024年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況				
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	284.7	2021年実績に対して1%削減	281.849	228.63	節電やエコドライブへの取り組みを継続した結果、前年度より14.98%の削減となった。	2021年実績に対して1.5%削減	2021年実績に対して2%削減		
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(t/百万円)	7711.36	2021年実績に対して1%削減	7634.248	5368.23	工事内容により産業廃棄物の排出量には振れ幅があるが、減少させることができた。	2021年実績に対して1.5%削減	2021年実績に対して2%削減		
③従業員一人当たりの水資源投入量の削減(m ³)	10.07	2021年実績に対して2.5%削減	9.82	10.07	水資源投入量は横ばいとなっている。	2021年実績に対して3%削減	2021年実績に対して3.5%削減		
④グリーン購入の推進	—	グリーン購入品の調査・目標値の策定	—	グリーン購入品の調査・購入	グリーン購入品の調査・購入を行っているが、目標値の策定に至らなかった。	グリーン購入目標値の策定	グリーン購入目標の策定		
⑤化学物質取扱及び管理の徹底	—	取扱商品の調査・管理手順の策定	—	SDSの取り寄せ	取扱品を把握しSDSを取り寄せた。管理手順の策定は次年度以降に持ち越しとなった。	取扱商品の調査・管理手順の策定	管理手順の順守		
⑥本業に関する目標	—	目標の継続 本業に関する目標の見直し・決定	—	・建設機械の適正使用 ・リサイクルの促進、適正処理	以前の目標を継続し、適正使用、適正処理を実施している。 本業に関する目標の見直し・決定は行われなかった。	現在の目標を継続	現在の目標を継続		

2. 主な環境負荷実績

(2022. 5. 1～2023. 4. 30)

環境への負荷	2021年	2022年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	213,521.77	181,535.61
②廃棄物排出量(kg)	5,783,520.96	4,262,376.52
③水資源投入量 (m ³)	272	282

5. 環境活動計画の取組みと評価

*2022.5～2023.4までの活動の取組みと評価をしております。

環境活動計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤建設機械の点検・整備 ⑥電力、ガソリン量の集計	社内に掲示等で周知を図ると共に各種定例会議で徹底に努めた。 エコドライブ推進により、ガソリンの使用量が減少した。
	次年度の取組内容
	機会があるごとに周知を図り、更なる削減に努める。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	一般廃棄物については、常に削減に努めている。 産業廃棄物については、受注工事量により大幅に増減するが、リサイクルの促進・適正処理を実施している。
	次年度の取組内容
	機会があるごとに周知を図り、更なる削減に努める。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	社内に掲示等で周知を図ると共に、各種定例会議で徹底に努めた。
	次年度の取組内容
	機会があるごとに周知を図り、更なる削減に努める。
4. グリーン購入の推進 ①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定 ④目標値の策定	事務用品などの購入品に対するグリーン購入適合品の調査は前年度に引き続き行った。 目標値の策定は行われなかった。
	次年度の取組内容
	購入品の選定にあたっては、グリーン購入比率の向上を図る。
5. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品(化学物質含有)の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成 ⑤管理手順の策定	取扱商品の把握に努めた。舗装工事で使用する乳剤に関してSDSを取り寄せた。
	次年度の取組内容
	取扱商品の調査を継続すると共に、管理手順の策定を図る。
6. 本業に関する目標 ①低炭素型建設機械の採用 ②建設機械の適正使用・管理 ③リサイクルの促進、適正処理	環境に配慮した建設機械を使用すると共に、建設機械の定期点検・整備等を実施して、適正な使用・管理に努めた。 また、舗装材には再生材を使用するなど、リサイクルの促進・適正処理を実施している。
	次年度の取組内容
	リサイクルの促進と適正処理は、今後も継続して取り組む。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び交 付状況報告	遵法
		遵法
		遵法
建設リサイクル法	計画書等説明書の作成、完了報 告書の作成	遵法
リサイクル法	計画書の作成、実施書の作成	遵法
騒音規制法	特定建設作業の届出	遵法
振動規制法	特定建設作業の届出	遵法
群馬県土砂等による埋め立て等 の規制に関する条例	委託基準（契約書・許可証）	遵法
前橋市土砂条例	委託基準（契約書・許可証）	遵法
フロン排出抑制法	室外機の定期点検	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年5月19日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

当社においては、平成30年11月に環境方針を定め、「エコアクション21」への取組を開始した。勉強会にて全従業員への周知をすると共に、データの収集等を行っている。取組を行う中で、社員の環境に対する意識の向上が図られつつある。

当年度ではエコアクション21審査時の提言も参考に基準年度を2017年から2021年へ変更した。燃料の使用量や産業廃棄物の排出量は工事場所・工事内容によって異なるが、節電、省エネルギー、再資源化等は常に關心をもって取り組んでいる。環境への負担軽減を常に意識し、今後も引き続き環境に配慮した取り組みを継続していきたい。